

# 宇都宮市立桜小学校 第6学年 児童質問紙

## ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると考えている児童が100%である。引き続き、一人一人のよさを認め、そのよさを発揮できるような環境を作っていきたい。

○「将来の夢や目的を持っていますか。」の質問には、8割以上の児童が肯定的に回答し、県や全国の平均を上回った。総合的な学習の時間に職業について調べる学習を計画的に取り組むことで将来への見通しがもてるよう、キャリアパスポートを活用し、家庭と連携しながら自信をもって将来への志がもてるよう努めていきたい。

○「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、9割近くの児童が肯定的回答だった。残り1割近くの児童にとっても学校生活が楽しかった、充実していたと感じられるよう、引き続き学習面・生活での賞賛や言葉かけ等、指導支援に努めていきたい。

○「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。」の質問には、98.4%の児童が肯定的回答している。これからもICT機器を授業で積極的に取り入れ、児童の学びを充実させていきたい。

●9割近くの児童が算数の勉強は大切だと思っているが、「算数の勉強が好きですか。」の質問に対しては、約半数の児童が苦手意識を持っている。少人数クラスでの学習の充実を図り、「できた感」「分かった感」を高めていきたい。

●理科に関するすべての質問で県や全国の肯定的回答を下回っている。ICTを積極的に活用したり、体験的活動をとりいれたり、導入での工夫をしたりして学習の充実を図っていきたい。

●「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)」の質問には、4時間以上と回答した児童が18%もいた。学級活動や道徳科の時間で情報モラルについて学習するとともに、1日当たりの適切な使用時間を宇都宮市のスマートフォン・携帯電話のルールと照らし合わせながら指導していきたい。

●「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」の質問には、全くしないと回答した児童が44.3%だった。「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)」の質問には、1時間より少ないが34.4%、全く少ないが18%だった。積極的に図書室利用をして本の魅力に触れたり、家庭学習の仕方について紹介したりして読書時間と家庭学習時間が増えるようにしていきたい。

## 宇都宮市立桜小学校 (第6学年) 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・タブレット等のICT機器を学習に活用し学習内容理解の習熟に役立てる	・AIドリル学習により、各教科の学習内容の定着を図る。 ・授業中における調べ学習やスライドの活用によりプレゼン能力の向上を図る。 ・動画・写真等により可視化、学級内での共有により学習内容を深める。	・児童全体の98.4%が学習の中でICT機器を使うのは勉強に役立つと考えている。

### ★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
・家庭学習時間や読書時間が県・市の平均よりも低かった。	「学習がんばり週間」を実施し、家庭と連携して望ましい家庭学習の習慣作りに努める。	・家庭学習時間を記録させるようにしたり、自主学習の取り組みの仕方を例として提示したりする。 ・授業で図書室を積極的に活用し、本に慣れ親しむ機会を多く作る。